

2020年3月期 第1四半期 決算説明資料

2019年 7月 31日

アイティメディア株式会社

証券コード:2148 東証第一部

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、様々な要因及び業況の変化により、記載されている予想とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。
- 当社の業績に影響を与える事項は「2019年3月期 有価証券報告書」の「事業等のリスク」に記載されておりますので、ご参照ください。ただし、業績に影響を与える要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。
- 本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。
- この資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料及びデータの無断転用はご遠慮ください。
- 当社は、2016年度第1四半期決算より、国際財務報告基準 (IFRS) を任意適用いたしました。
本資料の業績数値は、比較年度である2015年度よりIFRS基準、2014年度以前は日本基準に基づき記載しております。
- 当第1四半期連結累計期間において、ナレッジオンデマンド株式会社の株式譲渡を実行したことに伴い、同社を非継続事業に分類しております。これにより非継続事業からの損益は、要約四半期損益計算書上、継続事業と区分して表示しております。これに伴い、売上収益および営業利益は、継続事業の金額を表示しております。なお、前期についても同様に組み替えて表示しております。

✓ 売上収益 7.8% 増 第1四半期として過去最高

- ・単体 非IT系メディア ねとらぼ、ビジネス領域、産業テクノロジー領域が拡大継続
- IT系メディア 大手顧客で一部鈍化したものの増収
- ・子会社 発注ナビが成長

✓ 営業利益 48.2% 増 第1四半期として過去最高

- ・単体 増収により各セグメントの利益率が改善
- ・子会社 発注ナビが黒字化

✓ ナレッジオンデマンド 株式譲渡に伴い非継続事業に区分

✓ 新システム「LBP」によるリードジェン対象メディア拡張が本格化

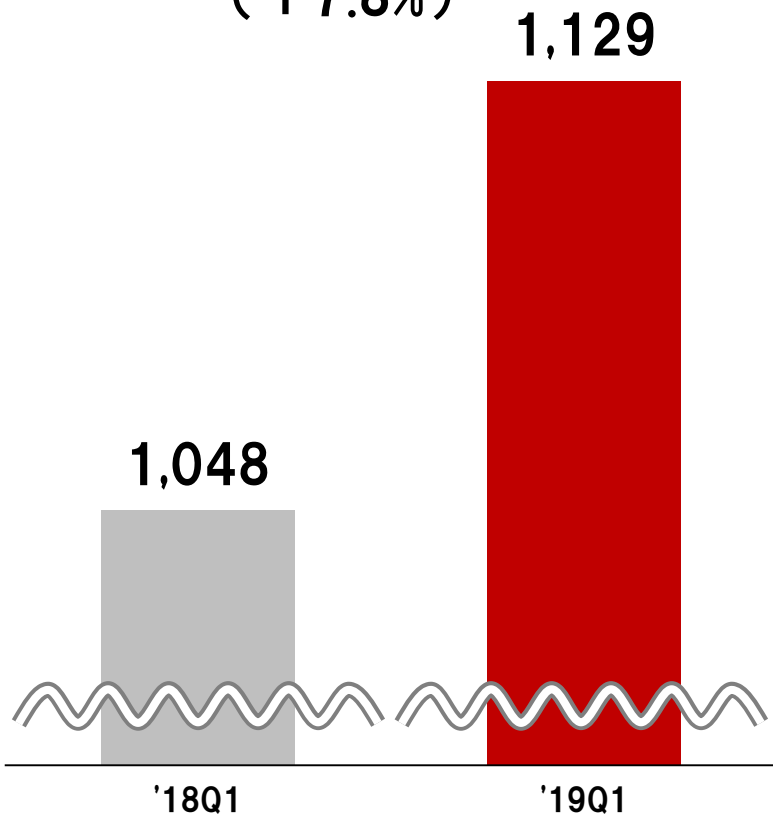


ITmedia Inc.

2020年3月期 第1四半期業績概況

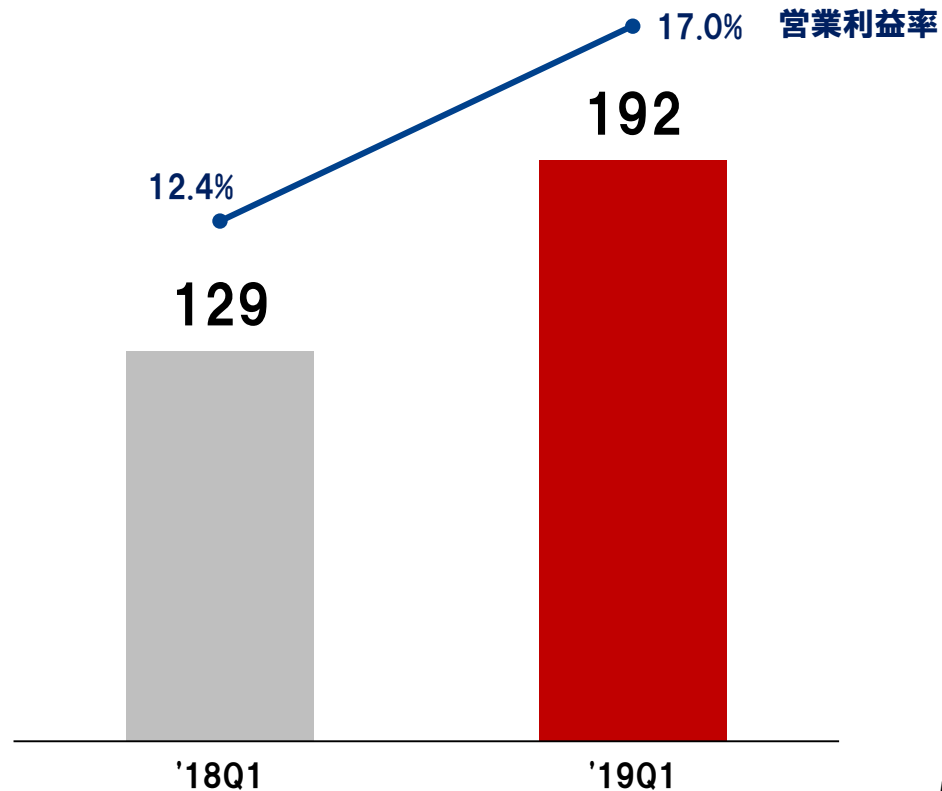
第1四半期の業績

売上収益 (+7.8%)



営業利益 (+48.2%)

(百万円)



連結損益計算書

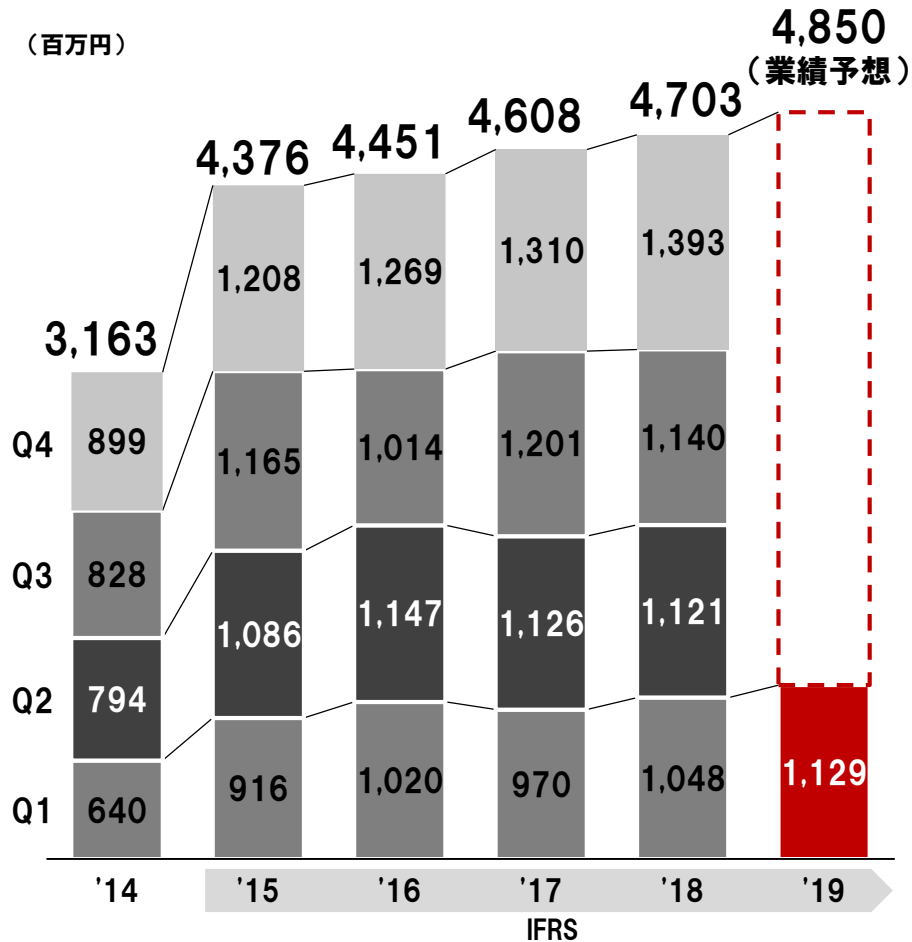
	'18Q1		'19Q1		増減率
	金額	売上比	金額	売上比	
(百万円)					
売上収益	1,048	100.0%	1,129	100.0%	+7.8%
総コスト	918	87.6%	937	83.0%	+2.1%
（うち人件費）	517	49.4%	535	47.4%	+3.5%
EBITDA ※1	159	15.3%	273	24.2%	+71.2%
営業利益	129	12.4%	192	17.0%	+48.2%
四半期利益	71	6.8%	146	12.9%	+105.1%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	73	7.0%	144	12.8%	+96.7%
四半期包括利益 ※2	200	19.1%	75	6.7%	▲62.3%

※1 当期からの新リース会計基準(IFRS16)適用により、当期EBITDAが増加（本社オフィスの不動産賃借に関わる費用が償却費化）

※2 上場株式（ログリー）の評価損益の反映による差異

売上収益 (四半期別)

(百万円)

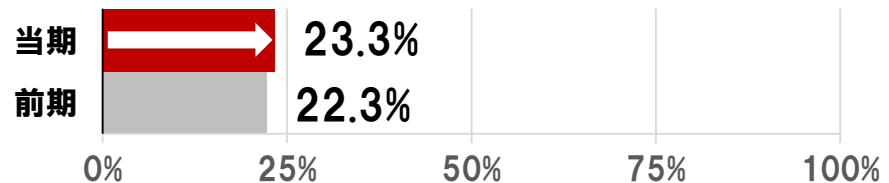


1,129 百万円

前年同期比 **+81** 百万円 (+7.8%)

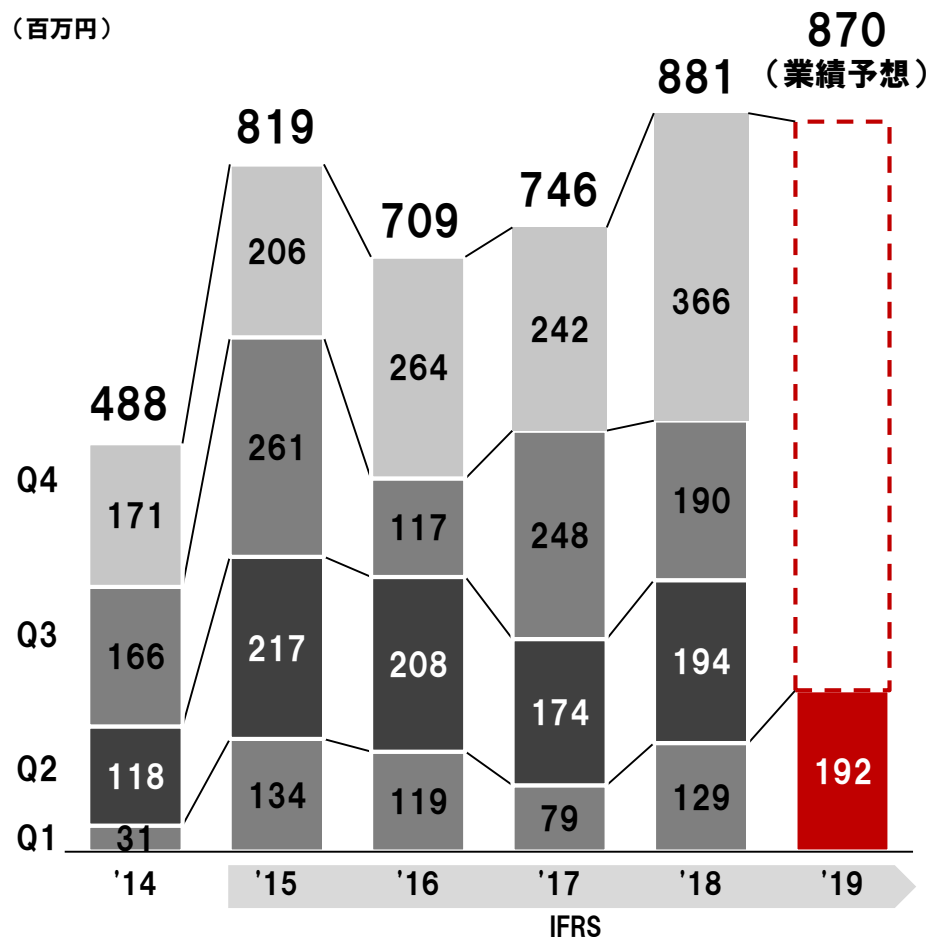
✓ **第1四半期として過去最高**

業績予想に対する進捗率



営業利益 (四半期別)

(百万円)

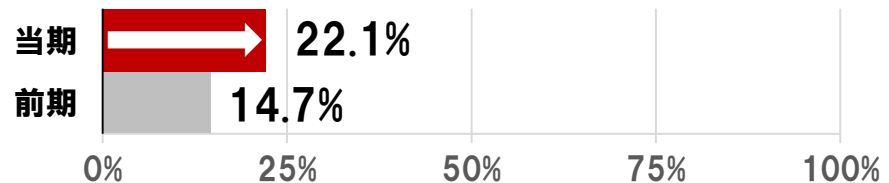


192 百万円

前年同期比 **+62 百万円 (+48.2%)**

✓ **第1四半期として過去最高**

業績予想に対する進捗率

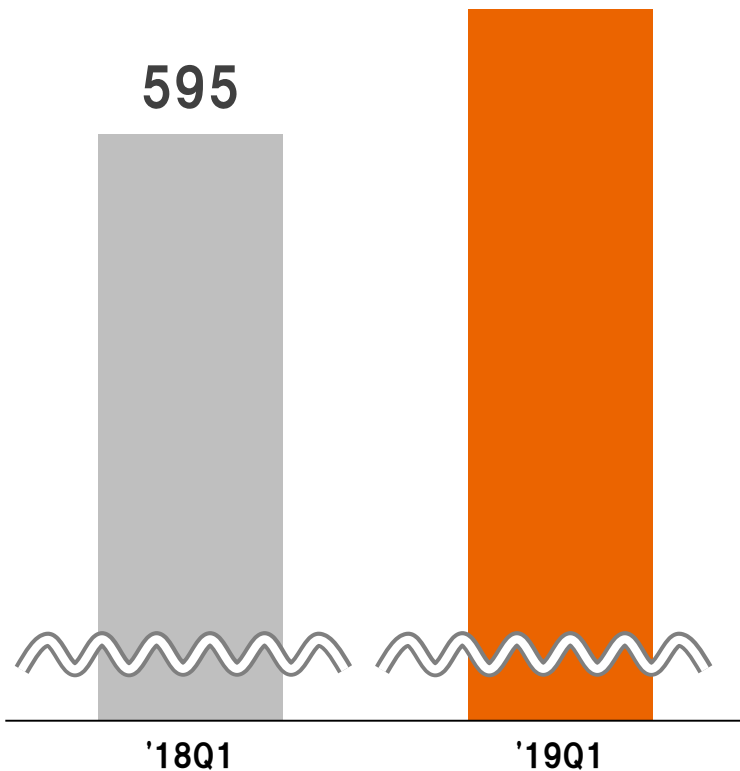


セグメント別売上収益

メディア広告

(+10.6%)

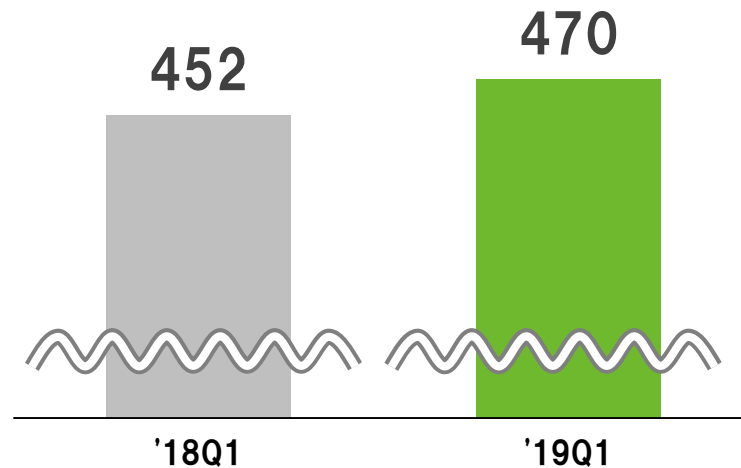
658



リードジェン

(+4.0%)

470

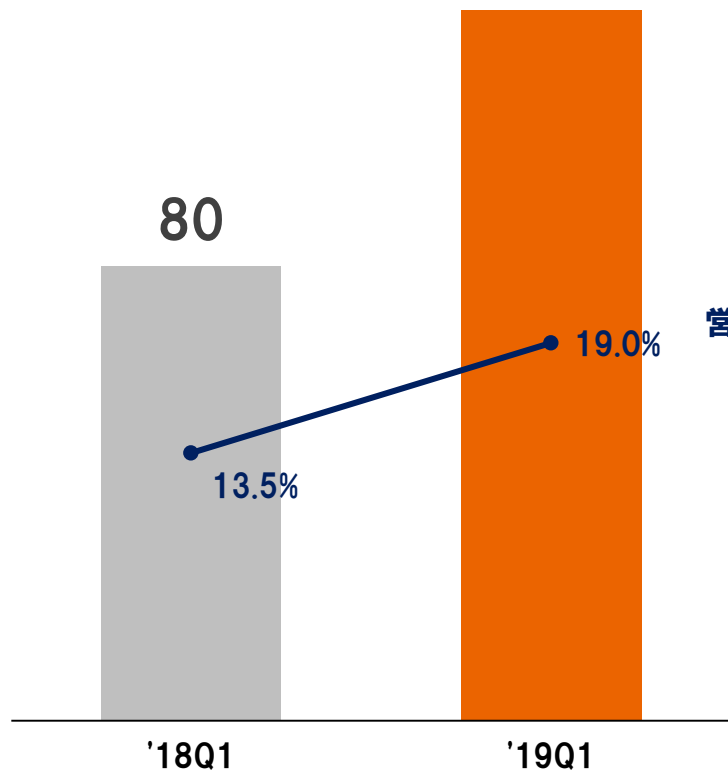


(百万円)

セグメント別営業利益

メディア広告

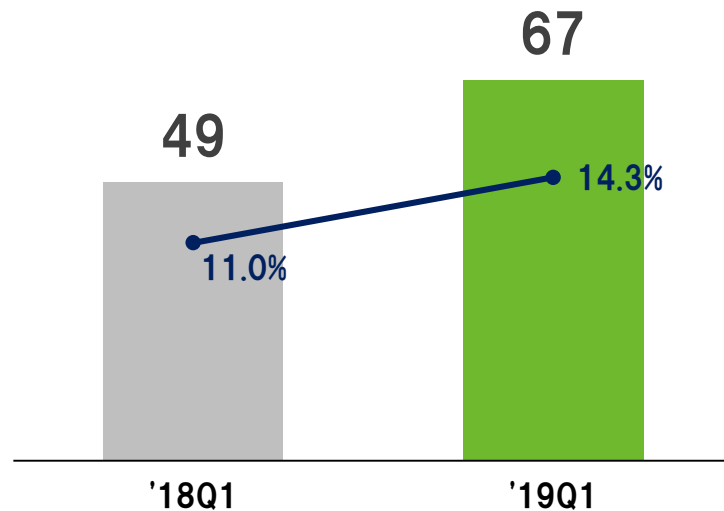
(+56.1%) 125



リードジェン

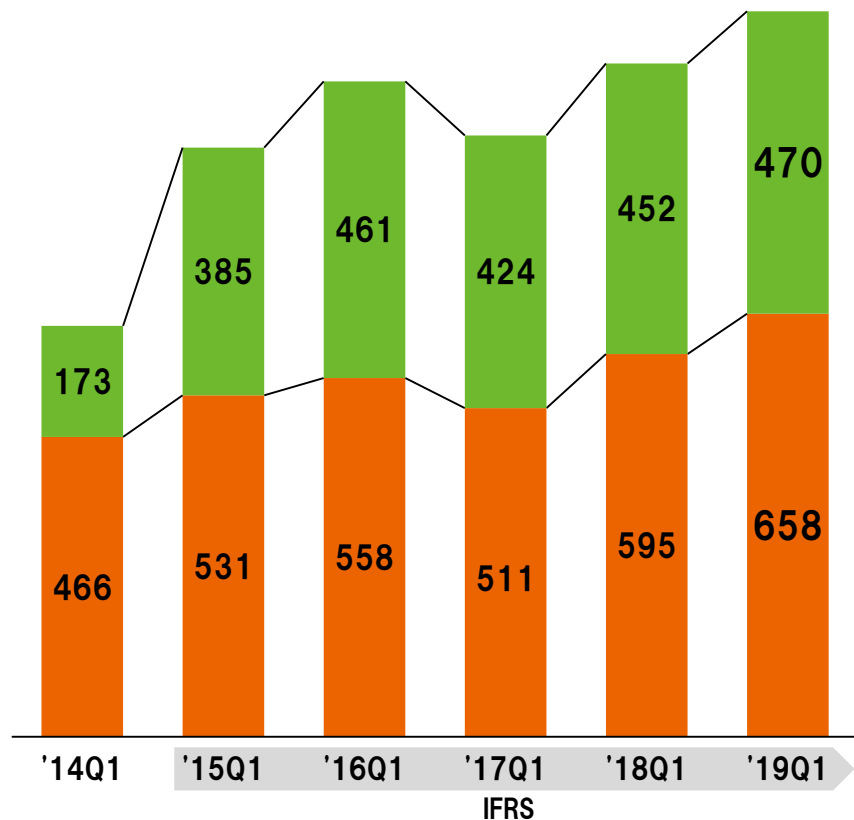
(+35.3%)

(百万円)



営業利益率

(百万円)



リードジェン事業

前年同期比 +4.0 % 第1四半期として過去最高

- 大手顧客で一部鈍化したものの増収
- 発注ナビの増収が貢献

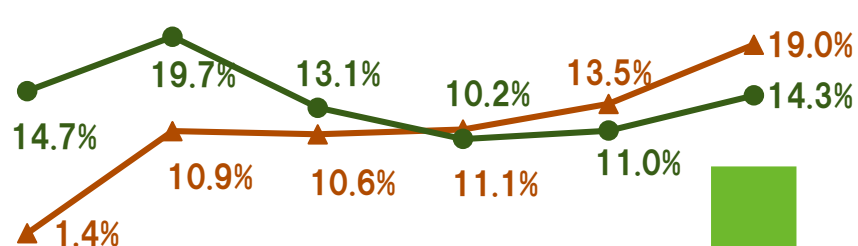
メディア広告事業

前年同期比 +10.6 % 第1四半期として過去最高

- ねとらぼが成長をけん引

営業利益 セグメント別

(百万円)



メディア広告 営業利益率

リードジェン 営業利益率

リードジェン事業

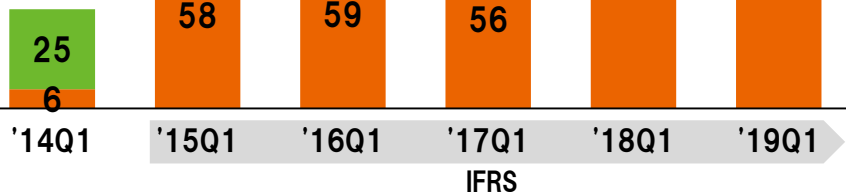
前年同期比 +35.3 %

- 長らく悪化していた利益率が改善

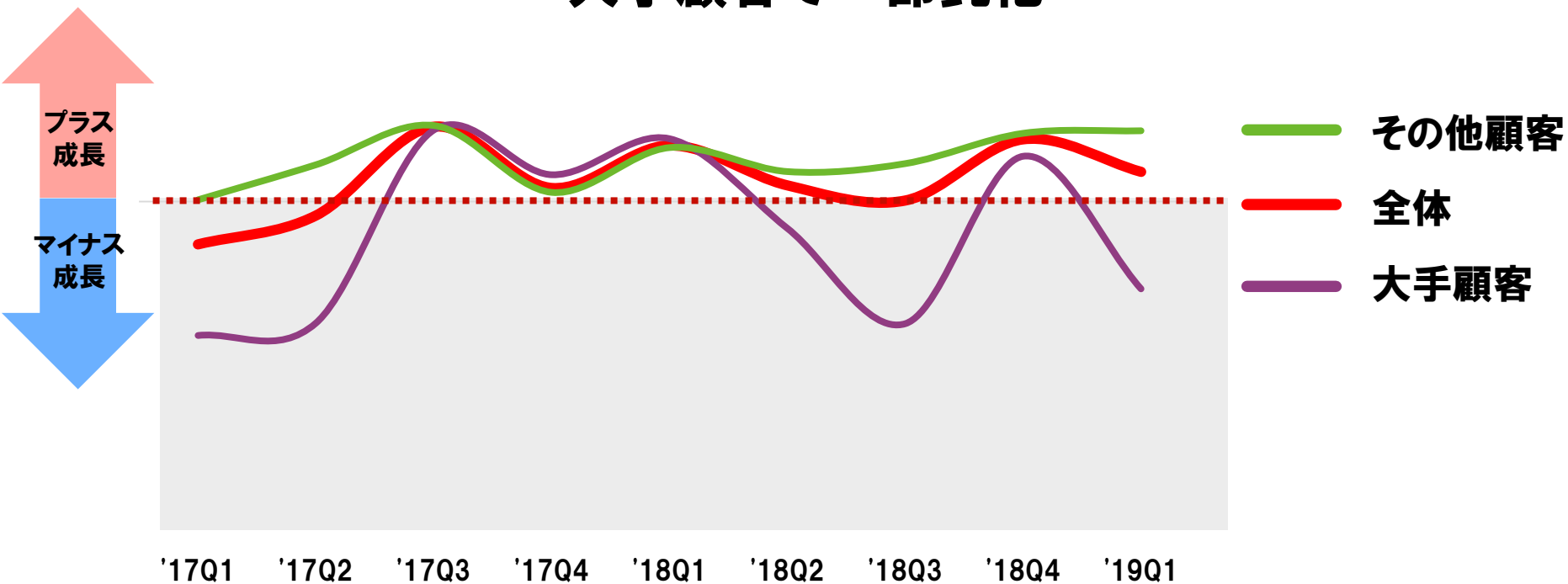
メディア広告事業

前年同期比 +56.1 % 第1四半期として過去最高

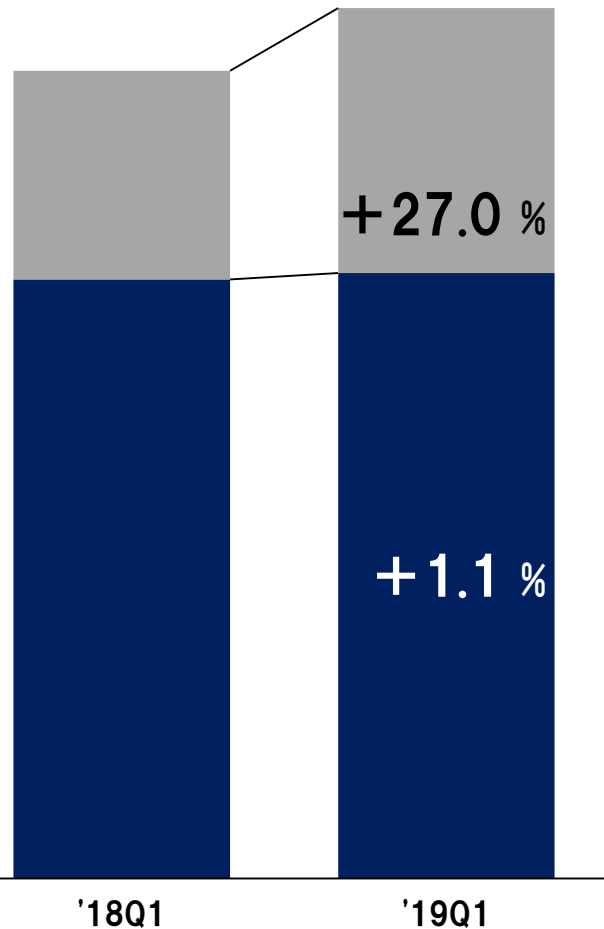
- 増収により利益率が改善



- ✓ 中堅・中小顧客が堅調で増収
- ✓ 大手顧客で一部鈍化



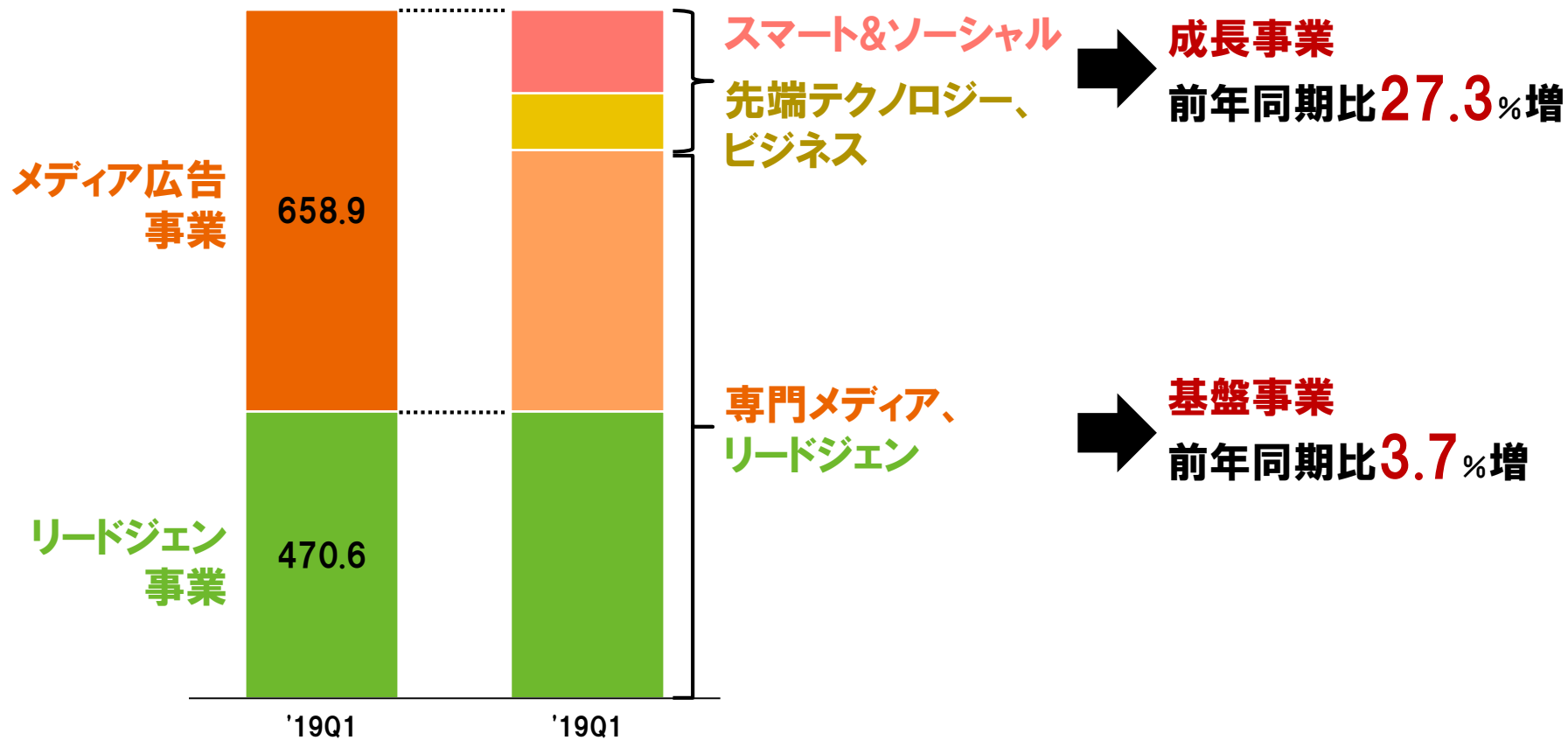
売上収益 メディア領域別の状況



■ 非IT系メディア ✓ ねとらぼ、ビジネス領域、産業テクノロジー領域が成長

■ IT系メディア ✓ 大手顧客で一部鈍化したものの増収

報告セグメント 中期戦略区分

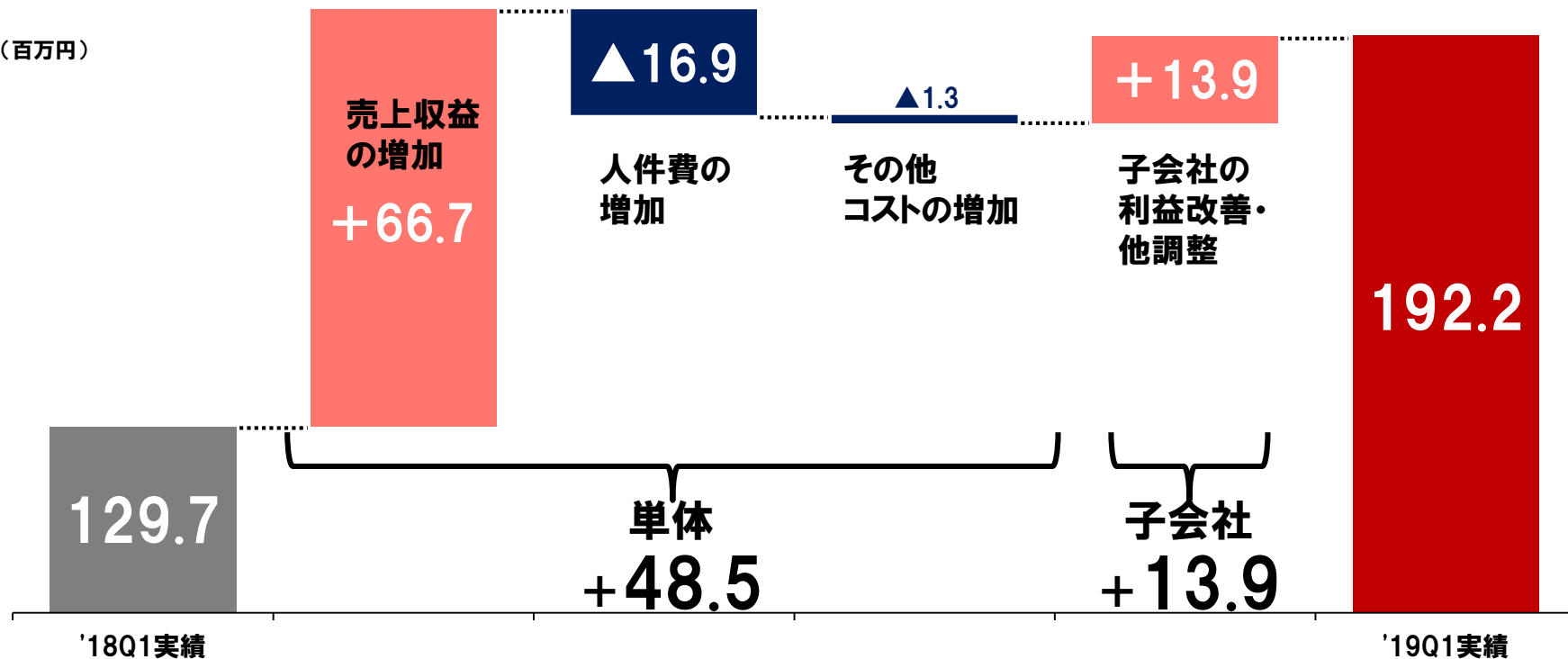


第1四半期 営業利益 増減分析

- ✓ 増収による増益
- ✓ 第1四半期として過去最高

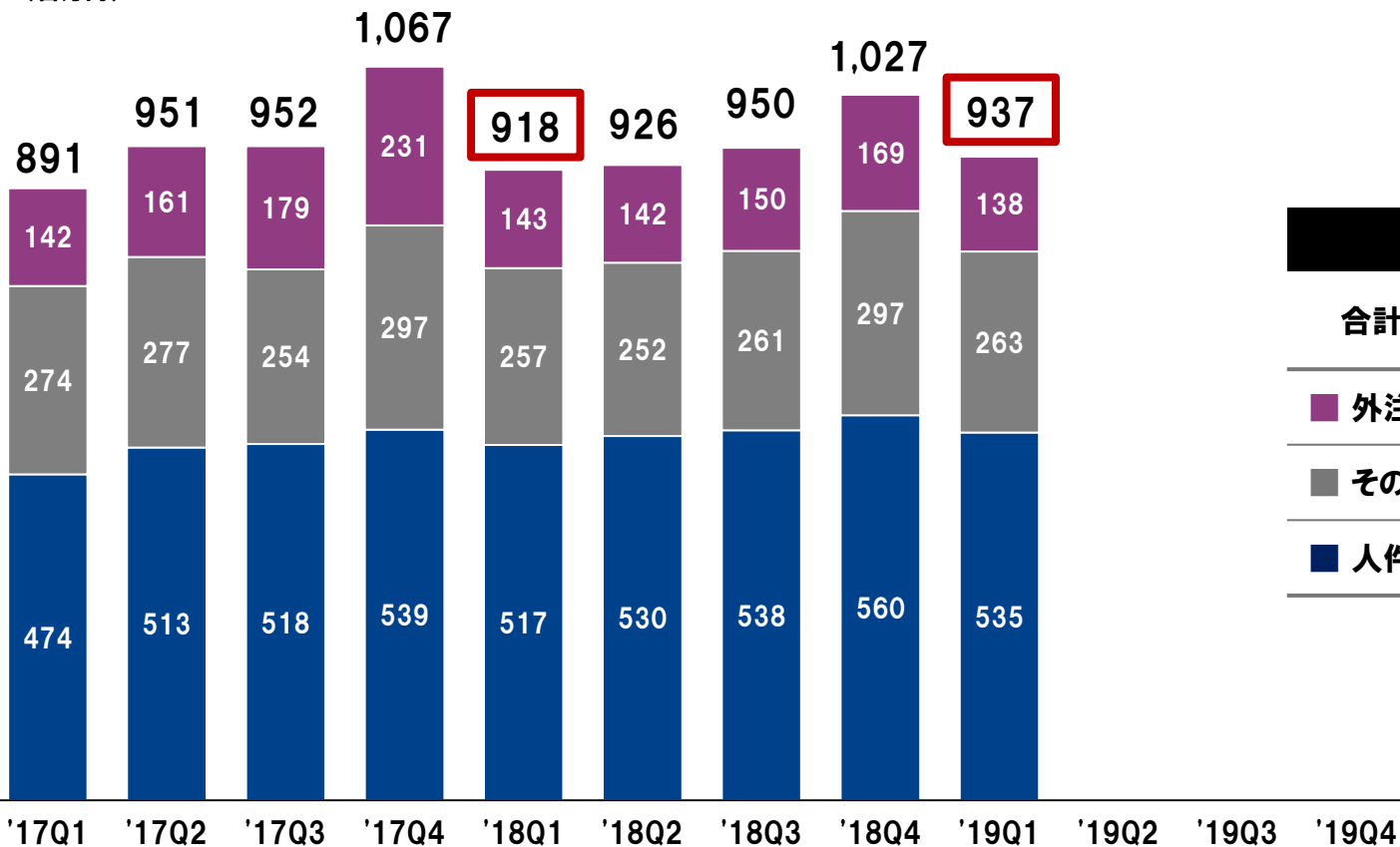
前年同期比
+62.5百万円

(百万円)



コストの内訳 四半期推移

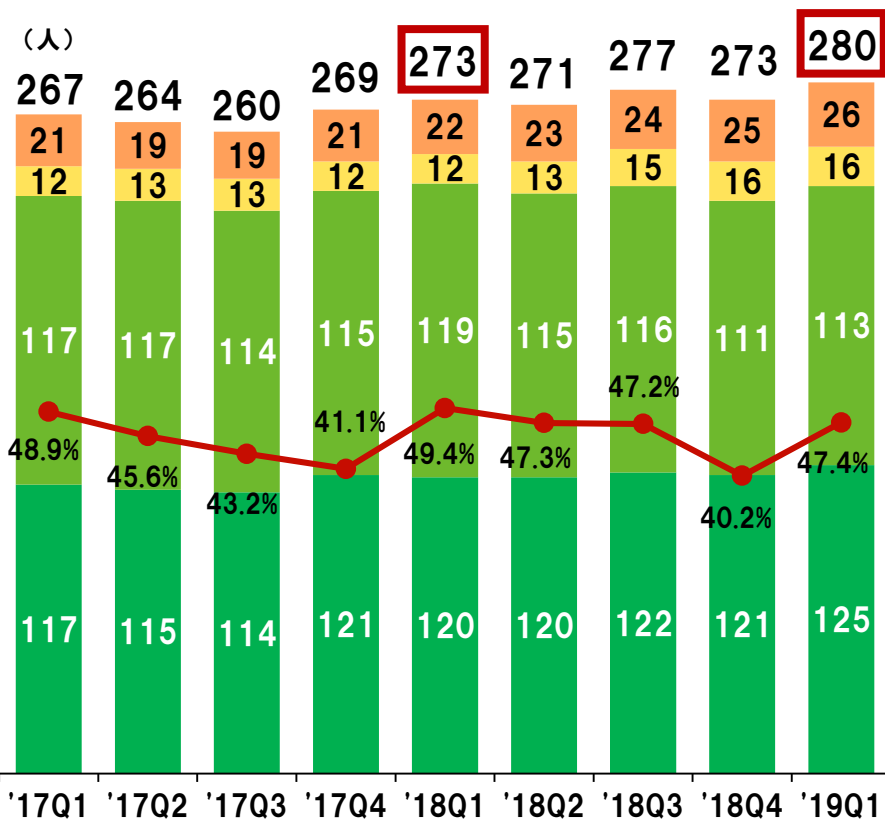
(百万円)



	前年 同期比	構成比
合計	+2.1%	100.0%
■ 外注費	▲3.7%	14.7%
■ その他	+2.3%	28.2%
■ 人件費	+3.5%	57.1%

従業員数の内訳 四半期推移

*契約、派遣、アルバイトを含む



	前年同期比	構成比
合計	+2.6%	100%
管理	+18.2%	9.3%
技術	+33.3%	5.7%
営業	▲5.0%	40.4%
編集・記者・その他	+4.2%	44.6%

$$\text{売上収益人件費率} = \frac{\text{【販管費】人件費} + \text{【原価】労務費}}{\text{売上収益}} \times 100$$

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	'18Q1	'19Q1	差異
営業活動による キャッシュ・フロー	21	337	+316
投資活動による キャッシュ・フロー	▲140	▲16	+124
財務活動による キャッシュ・フロー	▲94	▲134	▲40
現金及び現金同等物の 増減額	▲213	+186	+400
現金及び現金同等物の 期首残高	3,111	3,383	+271
現金及び現金同等物の 期末残高	2,897	3,569	+672

営業CF 主な内訳

継続事業からの 税引前四半期利益の計上	+87
減価償却費及び償却費	+81
営業債権及び その他の債権の減少	+252
法人所得税の支払額	▲128

投資CF 主な内訳

子会社の支配喪失による支出	▲15
---------------	-----

財務CF 主な内訳

新株の発行による収入	+52
リース負債の支払額	▲75
配当金の支払	▲111

連結財政状態計算書

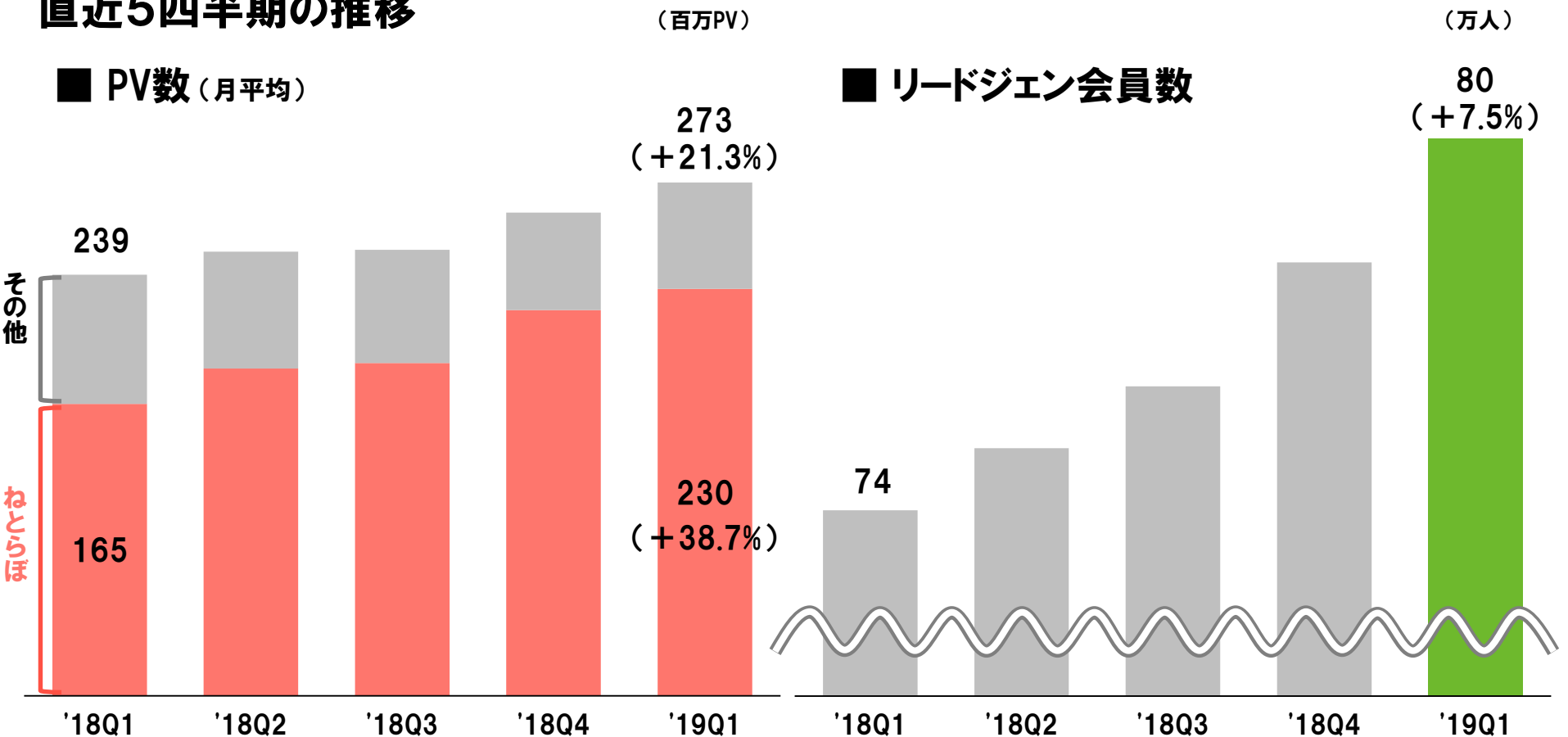
(百万円)		2019年3月末	2019年6月末	差異
資産の部	流動資産	4,814	4,711	▲103
	非流動資産	1,537	1,863	+326
	資産合計	6,351	6,574	+223
負債の部	流動負債	909	921	+11
	非流動負債	74	228	+153
	負債合計	984	1,149	+165
資本の部	資本金/資本剰余金	3,507	3,559	+52
	利益剰余金	2,054	2,094	+40
	自己株式	▲344	▲344	—
	他包括利益累計額	185	114	▲70
	親会社の所有者に 帰属する持分	5,402	5,424	+22
	資本合計	5,367	5,424	+57
	1株当たり親会社の 所有者に帰属する持分	277.11円	273.71円	▲3.40 円
	親会社所有者帰属持分比率	85.1%	82.5%	▲2.5 pt

資産合計	
現金及び現金同等物	+186
営業債権及びその他の 債権	▲298
使用権資産	+400

負債合計	
その他の金融負債 (リース負債)	+382
未払法人所得税	▲89
その他の流動負債	▲84

資本合計	
親会社の所有者に帰属 する四半期利益の計上	+144
剰余金の配当	▲116
その他の 包括利益累計額	▲70

直近5四半期の推移



※TechTarget、キーマンズネット、TechFactoryの3メディアの会員数を合計しています。21

トピックス：ねとらぼが好調を継続

PV (月平均)
(+38.7%)

ねとらぼ

売上高
(+49.7%)



(Q1の状況)

- **売上収益は第1四半期として過去最高を更新**
 - 大手顧客で一部鈍化も中堅・中小顧客が堅調
 - 発注ナビが増収に貢献
- **コストは計画通りピークアウト 利益率が改善**
- **新システム「LBP」が効率改善効果を発揮**

(Q2以降の見通し)

- **新システム「LBP」によるリードジェン対象メディア拡張が本格化**
 - Q2には @IT、ITmedia エンタープライズ で販売開始
 - 以降、ITmedia マーケティング、BUILT、ITmedia ビジネスオンライン を予定
- **Q1には出遅れた大手顧客も改善の見込み**

新システム「LBP」により、リード生成力が大幅に向上

大手顧客の
需要

個社事情による
変動大

→ 依存度を低減しつつ、需要発生時には
十分な在庫を持って高度なサービスを提供

中堅・中小顧客の
需要

底堅い

→ 営業体制の最適化により継続的に拡大

新システム「LBP」による リードジェン対象メディアの拡張



(Q2で販売開始)



(以降の拡張予定)



- ・ 提供可能リード数の拡大
 - ・ 高度なターゲティング
- が実現

2019年6月、ITエキスパート向け技術情報サイト @IT内に、 AI、機械学習の専門フォーラム開設

- 社会課題化する「AI人材不足」に対応
- AIエンジニアの育成、AIのビジネス活用を
情報で支援
- AI領域では既に「AI+ by ITmedia NEWS」も展開
- 広告顧客からの注目度も高い領域として継続強化



deep INSIDER

<https://www.atmarkit.co.jp/ait/subtop/di/>



サービス開始から半年でレビュー数が1万件を突破 影響力が拡大

ユーザーレビューを元にしたアワード展開
ユーザーから評価の高い製品を表彰



「IoT」カテゴリを新設
ロボット革命イニシアティブ協議会と共同

IoTカテゴリ

<https://www.itreview.jp/categories/iot>

- IoTゲートウェイ
- IoTデータ分析
- IoTセキュリティ
- IoTセンサー
- IoTパッケージ
- その他 IoT

- ・前期末にてのれん等の減損損失を計上
- ・ナレッジオンデマンドとして独自の成長戦略を志向



同社株式の譲渡を決定

【株式譲渡の概要】

相手先	宮下 知起（同社代表取締役）
譲渡株式数	1,131株（発行済株式数の50%）
取引実行日	2019年6月28日

※ 詳細につきましては2019年6月24日適時開示をご覧ください。

ナレッジオンデマンド株式譲渡に伴う当期財務影響について

連結損益計算書

継続事業	
売上収益	—
売上原価	—
販管費	—
営業利益	—
営業外損益	△84
法人所得税	—
継続事業からの四半期利益	△84
非継続事業からの四半期利益	+93
四半期利益	+8

ナレッジオンデマンド関連損益

- ・ 貸付残高への貸倒引当金繰入
(個別決算では前期に計上済み)

- ・ ナレッジオンデマンド期間損益
- ・ 株式譲渡等に伴う損益



ITmedia Inc.

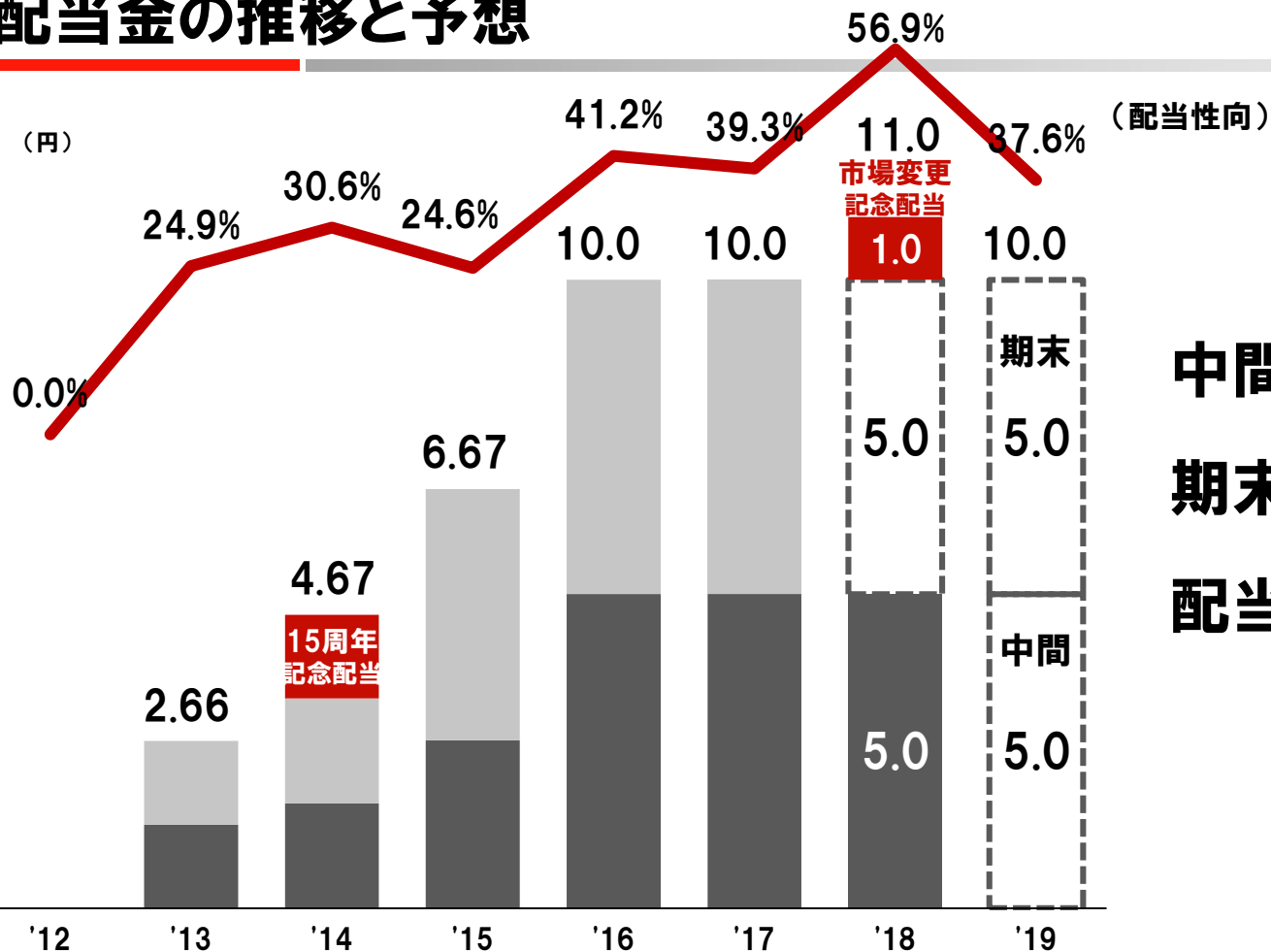
2020年3月期 業績予想・配当予想

- ✓ リードジェン、ねとらぼを軸に成長継続
- ✓ 前期好調だった第4四半期は保守的に計画

(百万円)	売上収益	営業利益	親会社の所有者に帰属する 当期利益
通期業績予想	4,850	870	520
	(+3.1%)	(▲1.3%)	(+38.0%)
2018年度実績	4,703	881	376

※上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

配当金の推移と予想



中間配当5円

期末配当5円

配当性向 37.6%

メディアの革新を通じて
情報革命を実現し、社会に貢献する



ITmedia Inc.